すてないで

VOL. 29

わたしたちは毎日の生活で、1人当たり1日平均約1kgのごみを出しています。普段、何げなく捨てているごみですが、23区内で収集されたごみはたくさんの人や経費を使って、東京湾に埋め立て処分されています。

今回は、わたしたちの出したごみがどこに運ばれて、どのように処理・リサイクルされているのかを紹介します。

皆さんも、大量消費・大量廃棄の生活から、ごみを出さない生活にするためにどうしたらよいか、もう一度考えてみてください。

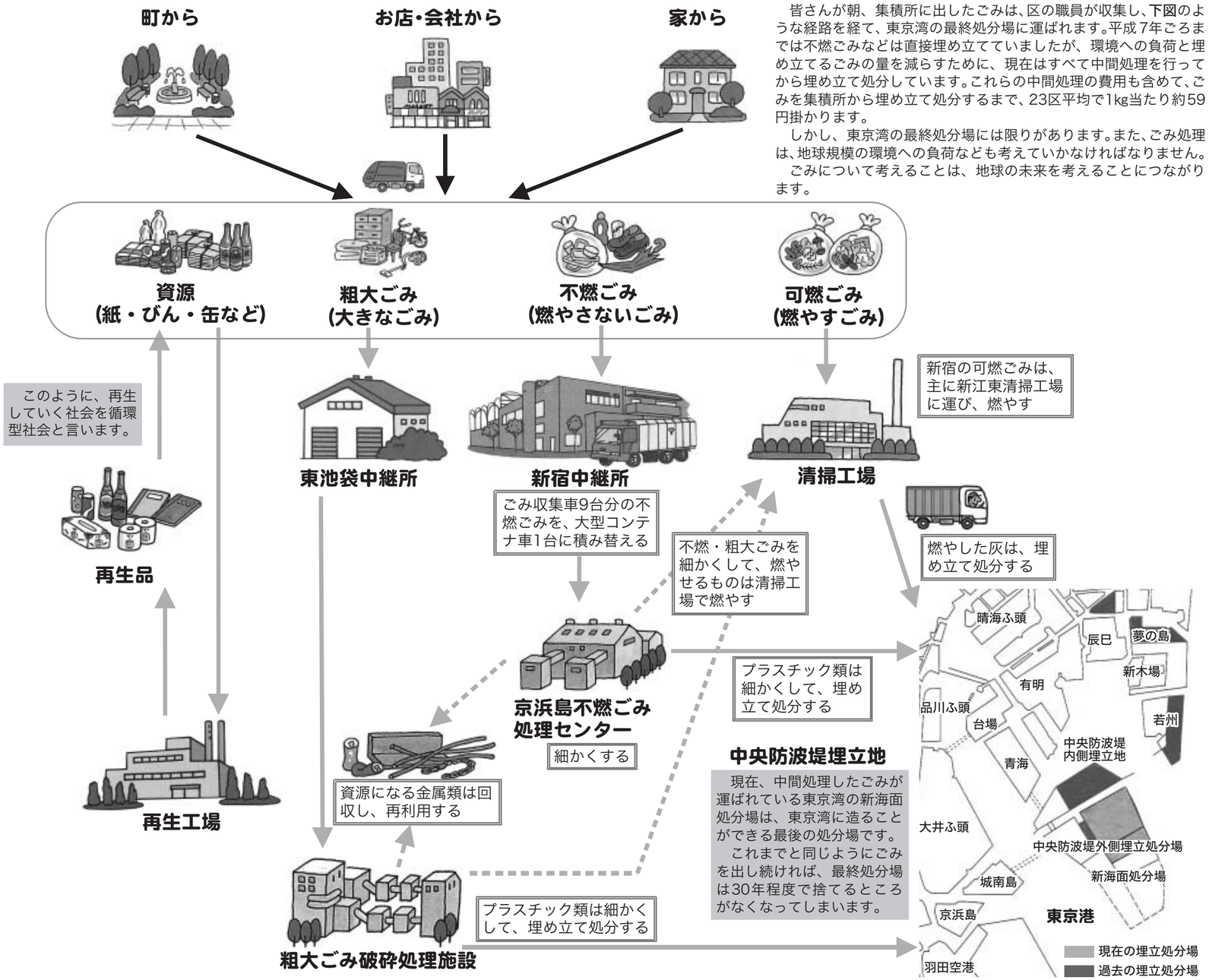
【問合せ】リサイクル清掃課普及指導係（本庁舎7階）☎（5273）3807へ。

ごみはどこへ行くの？

皆さんが朝、集積所に出したごみは、区の職員が収集し、下図のような経路を経て、東京湾の最終処分場に運ばれます。平成7年ごろまでは不燃ごみなどは直接埋め立てていましたが、環境への負荷と埋め立てるごみの量を減らすために、現在はすべて中間処理を行ってから埋め立て処分しています。これらの中間処理の費用も含めて、ごみを集積所から埋め立て処分するまで、23区平均で1kg当たり約59円掛かります。

しかし、東京湾の最終処分場には限りがあります。また、ごみ処理は、地球規模の環境への負荷なども考えていかなければなりません。

ごみについて考えることは、地球の未来を考えることにつながります。



中央防波堤埋立地

現在、中間処理したごみが運ばれている東京湾の新海面処分場は、東京湾に造ることができる最後の処分場です。

これまでと同じようにごみを出し続ければ、最終処分場は30年程度で捨てるところがなくなってしまいます。

新宿区役所本庁舎・第１分庁舎・第２分庁舎・四谷庁舎（四谷区民センター５階・６階）の代表電話は、☎（3209）1111です。

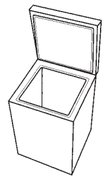
リサイクル一口メモ

リーフレット「ごみ・資源の正しい分け方・出し方」の配布

3月末にリーフレット「ごみ・資源の正しい分け方・出し方」（16年度版）を各戸に配布します。

一部の地域で収集日が変更になる場合があります。変更になる集積所などには、個別にお知らせします。ご協力をお願いします。

家電リサイクル法対象物に冷凍庫が加わります



4月1日から、家電リサイクル法対象物のエアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機に、冷凍庫が加わります。

リサイクル料金等については、決まり次第お知らせします。

引っ越しを予定している方へ

●●●家具・家電製品・パソコンの処理●●●

引っ越しや部屋の模様替えなどの際に、家具や家電製品を処分する方もいると思います。「明日、引っ越すので、ごみを処理してほしい」と申し込まれても、ごみの種類によって、処理やリサイクルの方法が違うため、すぐには対応できません。

廃棄するときは、次のことに注意し、計画的に処理してください。

★家庭から出る「燃やすごみ」「燃やさないごみ」は原則として無料ですが、一度にたくさんのごみを出す場合は有料になります。たくさんのごみを出すときは、必ず分別して、少しずつ何回かに分けて計画的に出してください。

★エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫（16年4月から適用）・洗濯機を処分する場合は製品を購入した販売店、買い替えの場合は新しく購入する販売店で処理してください。引っ越しなどで購入時の販売店が分からない場合は、**家電受付センター☎**（5296）7200に処理を依頼してください。廃棄するには、リサイクル料金のほかに運搬料金が必要です。

★布団や家具など、一辺が約30cm以上の大きさのものは粗大ごみになります。粗大ごみは予約制で有料です。**粗大ごみ受付センター☎**（5296）7000に申し込んでください。混雑時には、希望する日に収集できない場合があります。早めに予約してください。

区立新宿リサイクル活動センターでは家具などのリサイクルを行っています。まだ使える家具類はごみにする前に、**区立新宿リサイクル活動センター☎**（5330）5374に相談してください。

★パソコンを廃棄するときは、メーカーが回収リサイクルします。各製品のメーカーに連絡してください。メーカーの連絡先が分からない場合は、ＪＥＩＴＡ（電子情報技術産業協会）のホームページ（HPhttp://www.pc3r.jp）で確認できます。

集団回収現場⑥　戸塚第一幼稚園父母と教師の会

区立戸塚第一幼稚園に通う園児の保護者の皆さんは、半年程前から、自宅から新聞・雑誌・紙パック等の資源を持ち寄り、活動で得た報奨金を子どもたちの環境教育とさまざまな行事の活動資金に充てています。

回収日の1週間程前から子どもの送迎時に新聞などを持ち寄り、回収日当日には、役員の皆さんが、チームワークよく回収指定場所の門に運びます。

会の代表の山野さん（写真右から2人目）にお話を伺いました。

Q活動を始めたきっかけは何ですか？

ほかの幼稚園の方に、報奨金は親子の交流のための活動資金に活用できるし、子どもも喜んで手伝ってくれると聞いて、始めようと思いました。

Q報奨金は何に使いますか？

先日の運動会では、パン食い競争で使うパンや子どもに配るお菓子などを買いました。

Q皆さんに協力してもらうのは大変ではないですか？

活動資金になり、子どもも喜んで手伝ってくれるので、皆さん快く協力してくれます。

Q自宅から幼稚園まで運ぶのは大変ではないですか？

お母さんたちは、自転車やキャスターに積んで運んでいます。少量の本など軽いときは、子どもが手伝ってくれることもあります。

集団回収は、週1回の行政回収に比べて手間は掛かりますが、回収するための経費が少ないことを説明すると、「これからもこの活動が続いていくように頑張ります」と言ってくれました。

皆さんも集団回収を始めませんか？10世帯以上集まれば団体登録できます。町会や自治会はもちろん、マンションの管理組合や気の合う仲間でリサイクルに取り組んでみませんか。